

第2節 院内学級在籍児童生徒への面接調査の結果

1. 対象者 対象者数 27名 (N=27)

(1) 性別

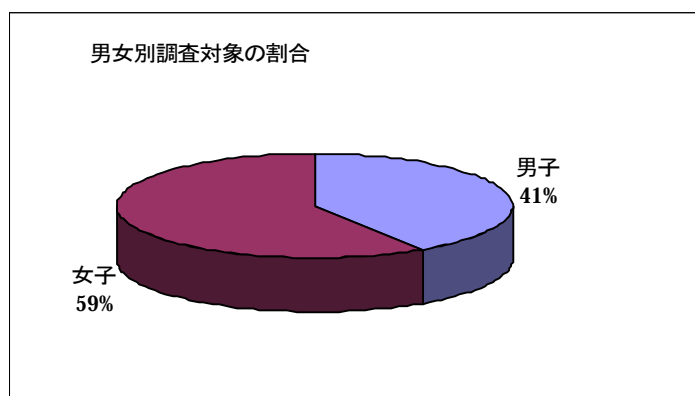
男女別調査対象者人数は以下のものであった。

回答者は男子 11名 (41%)、女子 16名 (59%) であった。

Table2-1-1
男女別調査対象の
人数(人)

男子	11
女子	16
合計	27

Fig2-1-1



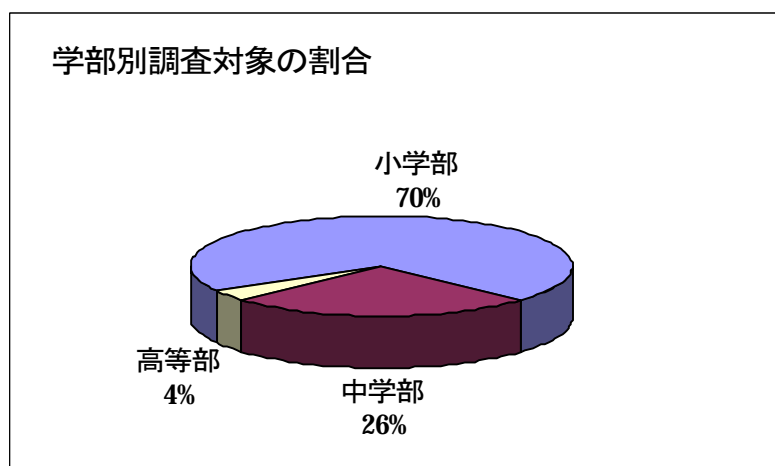
(2) 学部別調査対象者人数は以下のものであった。

小学部が 19名 (70%)、中学部が 7名 (26%)、高等部が 1名 (4%) であった。

Table2-1-2
学部別調査対象の
人数(人)

小学部	19
中学部	7
高等部	1
合計	27

Fig2-1-2



(3) 学年別調査対象者人数は以下のものであった。

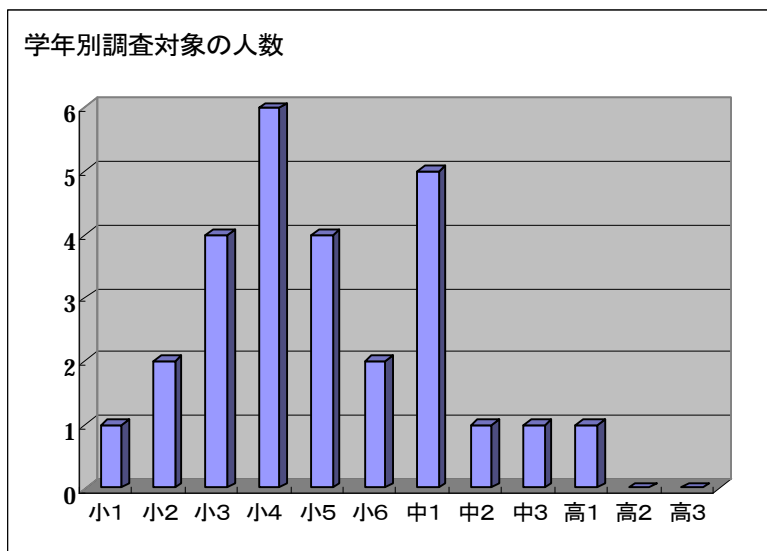
対象者は小学部1年生から高等部1年生までの各学年に及んでいる。

Table2-1-3

学年別調査対象の人数(人)

小1	1
小2	2
小3	4
小4	6
小5	4
小6	2
中1	5
中2	1
中3	1
高1	1
高2	0
高3	0
合計	27

Fig2-1-3



(4) 入院回数別調査対象者人数は以下のようであった。

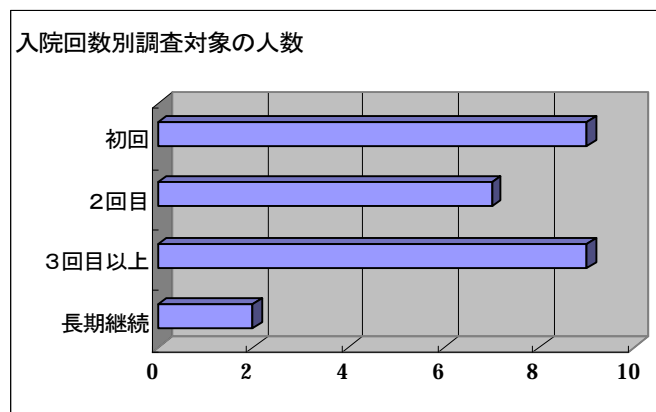
初回入院が9名、2回目の入院が7名、3回目以上の入院経験者が各9名であった。この数値からも入退院を繰り返す児童生徒が多数在籍していることが分かる。

長期継続とは、国立成育医療センターの開院前、廃院した国立小児病院当時から5年以上入院生活を継続しているケースである。

Table2-1-4
調査時点での入院回数
(回目)別人数(人)

初回	9
2回目	7
3回目以上	9
長期継続	2
合計	27

Fig2-1-4



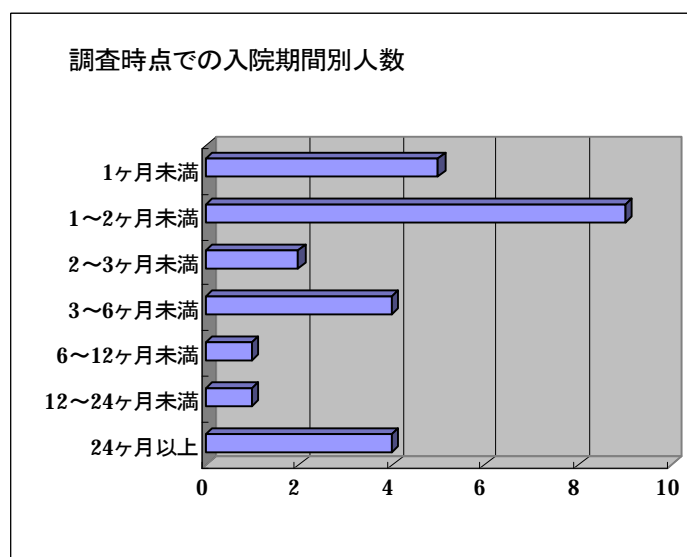
(5) 入院期間別調査対象者人数は以下のようであった。

1ヶ月以上2ヶ月未満の児童生徒が9名と一番多かった。1年あるいは2年以上入院している児童生徒も合わせて5名おり、入院期間短期化の傾向がある中でも、依然長期入院児が存在することが分かる。

Table2-1-5
調査時点での
入院期間別人数(人)

1ヶ月未満	5
1～2ヶ月未満	9
2～3ヶ月未満	2
3～6ヶ月未満	4
6～12ヶ月未満	1
12～24ヶ月未満	1
24ヶ月以上	4
合計	26

Fig2-1-5



2. パソコン、インターネットの使用経験

(1)「パソコンを使ったことがありますか？」の問いには、全員が「ある」と回答した。

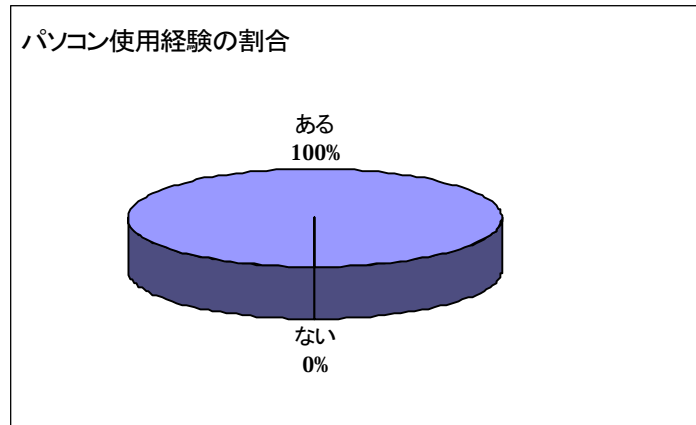
現在の学齢期の子どもたちにとって、パソコンはもはや未知のものではないことが分かる。

Table2-2-1

パソコン使用経験(人)

ある	27
ない	0
合計	27

Fig2-2-1



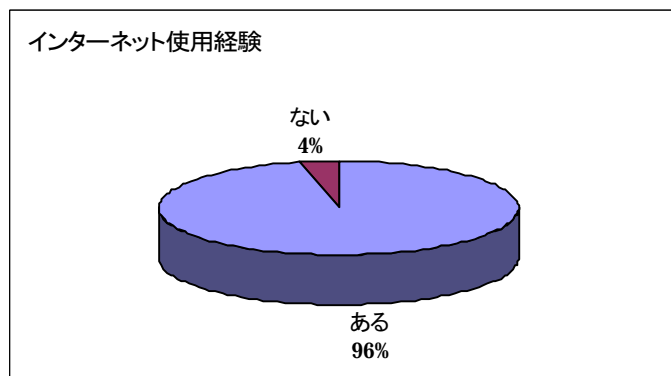
(2)「インターネットを使ったことがありますか？」の問いには、1名を除き「ある」と答えている。

Table2-2-2

インターネット使用経験(人)

ある	26
ない	1
合計	27

Fig2-2-2



3. 家庭におけるICT環境

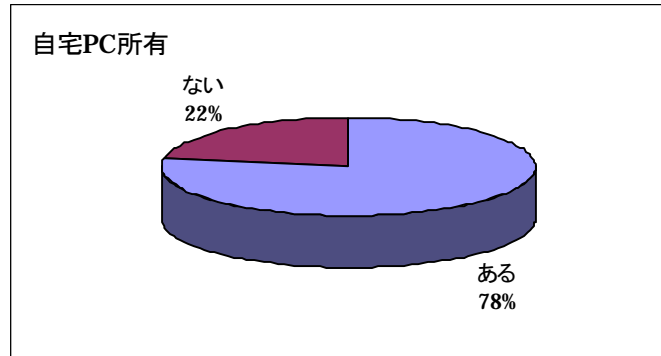
(1)「自宅にパソコンはありますか？」の質問に対しては、78%が「ある」と答えている。

Table2-3-1

自宅PC所有(世帯数)

ある	21
ない	6
合計	27

Fig2-3-1



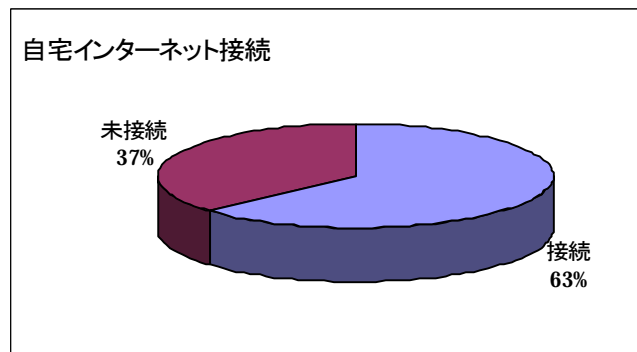
(2)「自宅はインターネットにつながっていますか？」の質問に対しては、63%が「つながっている」と回答している。

Table2-3-2

自宅インターネット接続(世帯数)

接続	17
未接続	10
合計	27

Fig2-3-2



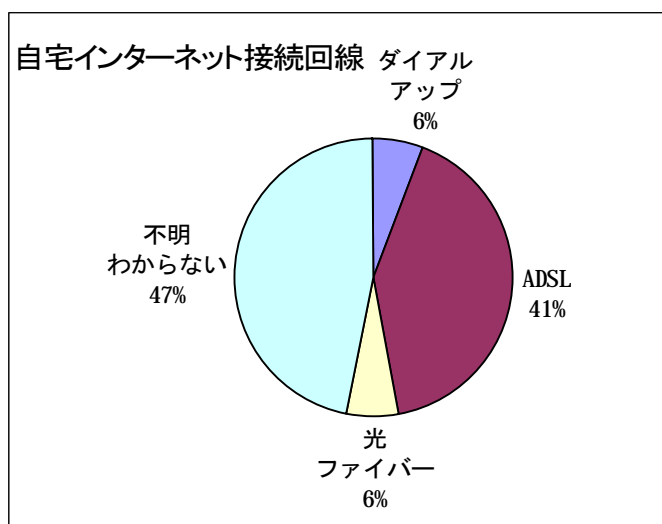
(3)「回線の種類は？」という質問に対しては、インターネットにつながっている 17 世帯の内、7 世帯が ADSL で 41%と最も多かったが、「わからない」と答えたケースが半数近くあった。

Table2-3-3

自宅インターネット
接続回線種別(世帯数)

ダイヤルアップ	1
ISDN	0
CATV	0
ADSL	7
光ファイバー	1
不明(わからない)	8
合計	17

Fig2-3-3



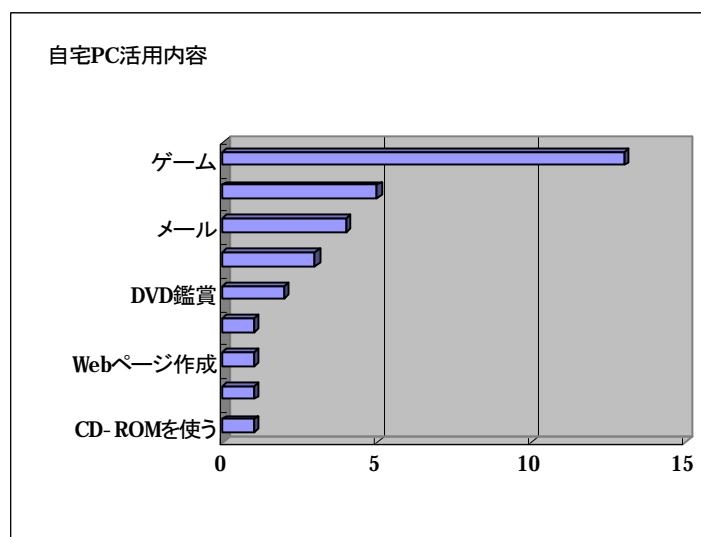
(4)「自宅のパソコンでどんなことをしましたか？」という質問に対しては、「ゲーム」をあげた児童生徒が多かった。

Table2-3-4

自宅活用内容
(人・複数回答)

ゲーム	13
趣味に関する検索	5
メール	4
学習に関する検索	3
DVD鑑賞	2
画像編集	1
Web ページ作成	1
CD を聴く	1
CD-ROM を使う	1
使用しない	1

Fig2-3-4



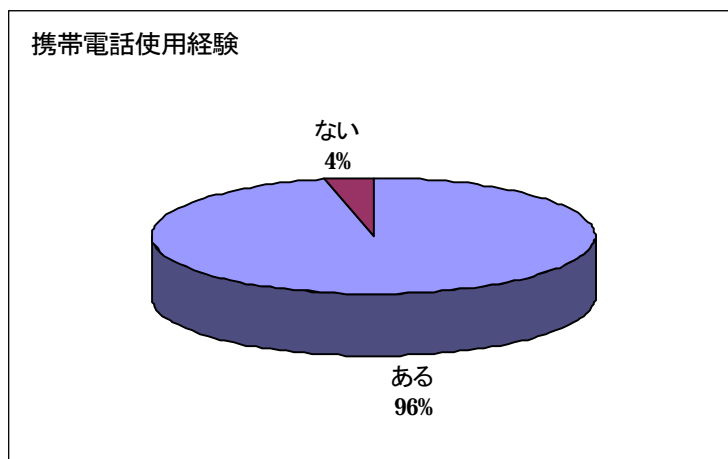
(5)「携帯電話を使ったことがありますか？」の質問に対しては、1名を除いて「ある」と答えている。

Table2-3-5

携帯電話使用経験(人)

ある	26
ない	1
合計	27

Fig2-3-5



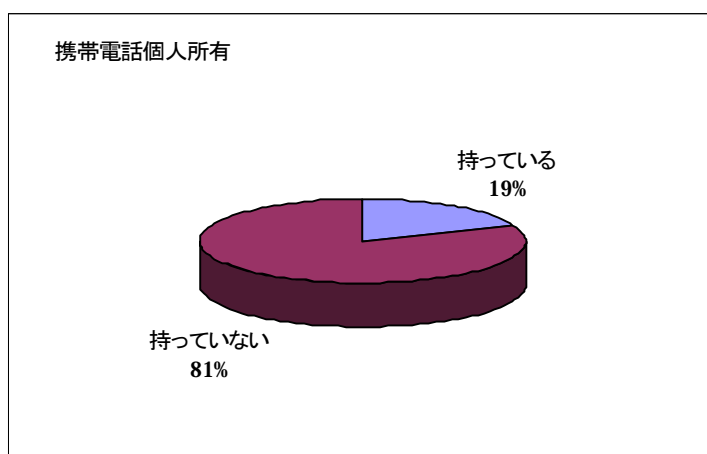
(6)「自分の携帯電話をもっていますか？」の質問に対して、「もっている」と回答したのは5名で、高等部1名、中学部2名、小学部2名（内、1件は祖母・兄と共有）であった。

Table2-3-6

携帯電話個人所有(人)

持っている	5
持っていない	2
合計	7

Fig2-3-6



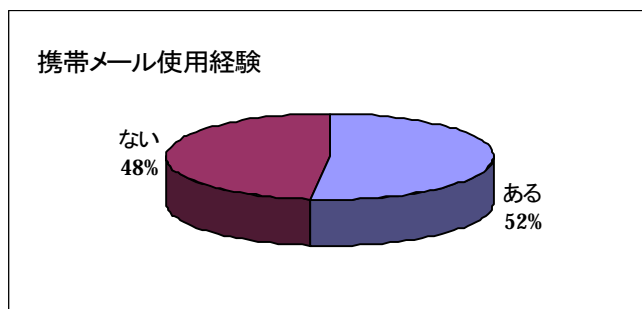
(7)「携帯電話でメールをしたことがありますか？」の質問に対しては、半数が「ある」と回答した。その内、自分の携帯を持たない 9 名は、両親や兄弟等の所有する携帯電話を使ってメールをしたことがあると答えた。

Table2-3-7

携帯メール使用経験(人)

ある	14
ない	13
合計	27

Fig2-3-7



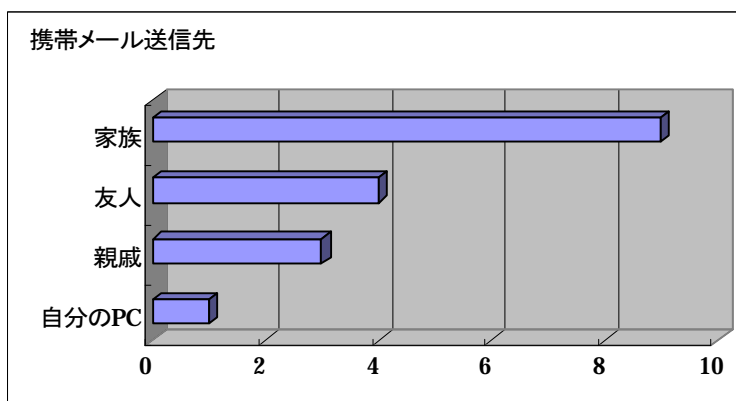
(8)「携帯電話で誰とメールのやりとりをしていますか？」の質問に対しては、「家族」を挙げた回答が多かった。

Table2-3-8

携帯メール送信先
(人・複数回答)

家族	9
友人	4
親戚	3
自分のPC	1

Fig2-3-8

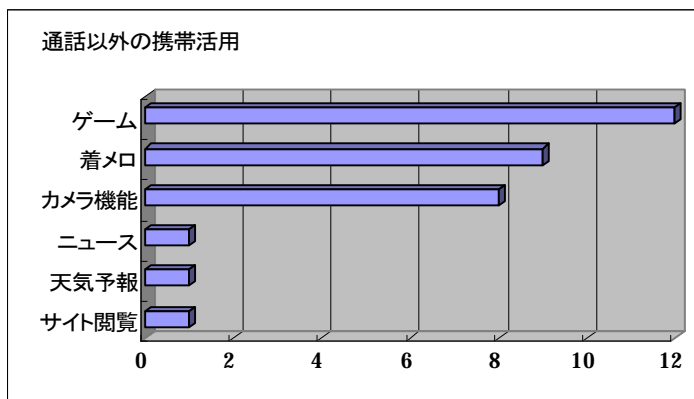


(9)「携帯電話を使って通話やメールの他にどんなことをしますか？」という質問に対しては、「ゲーム」を挙げた回答が多く、次いで「着メロ」、「カメラ機能」であった。

Table2-3-9
通話以外の携帯活用
 (人・複数回答)

ゲーム	12
着メロ	9
カメラ機能	8
ニュース	1
天気予報	1
サイト閲覧	1

Fig2-3-9

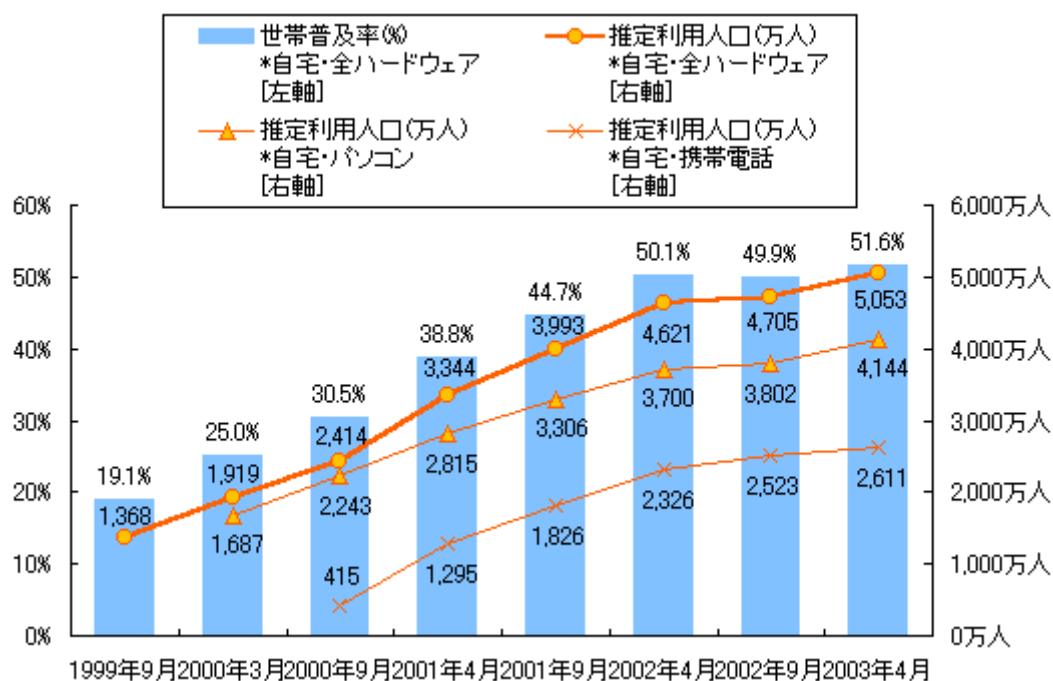


(10)「携帯電話でテレビ電話をしたことがありますか？」の質問に対しては全員が「ない」と答えた。これはNTTドコモのFOMA使用を想定した質問だったが、テレビ電話機能付きの携帯電話がまだまだ一般に普及していないことが分かる。

ビデオリサーチネットコム の 2003 年 4-5 月の「インターネット普及状況調査結果」によれば、日本全国のインターネットホームユース世帯普及率 (機器を問わず普段インターネットを利用する人が 1 人でもいる世帯の割合)は 51.6%となっている。今後、家庭におけるインターネットの普及率は上昇していくことが予想される(ビデオリサーチネットコム, 2003)。

Fig2-3-10

インターネット世帯普及率/利用機器別・自宅内インターネット利用人口の推移



4. 前籍校でのパソコン、インターネットの活用

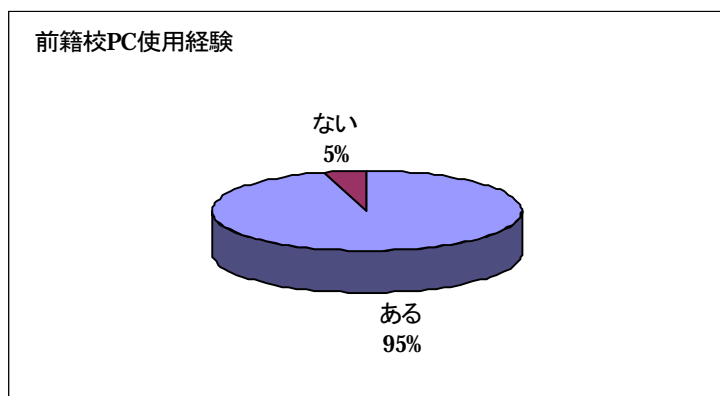
(1) 「入院前の学校（前籍校）で、パソコンを使ったことがありますか？」の質問に対しては1人を除いて「ある」という回答だった。

Table2-4-1

前籍校 PC 使用経験(人)
分教室入学者を除いて調査

ある	21
ない	1
合計	22

Fig2-4-1



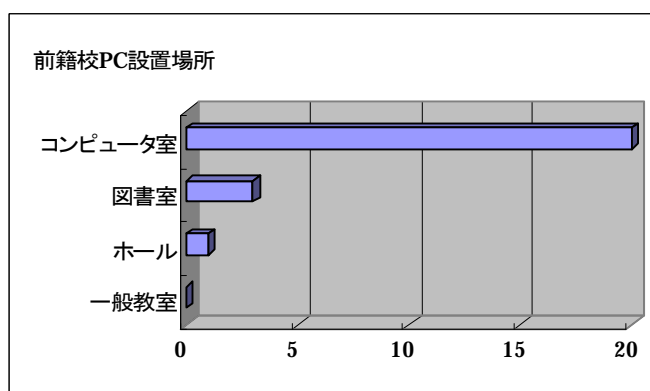
(2) 「学校のパソコンはどこにありましたか？」の質問に対して、コンピュータ室（呼称はコンピュータールーム、パソコンルーム等）以外の設置場所を答えたのは4例に過ぎず、一般の教室に設置されている学校は皆無であった。

Table2-4-2

前籍校 PC 設置場所(複数回答)
全22校

コンピュータ室	20
図書室	3
ホール	1
一般教室	0

Fig2-4-2



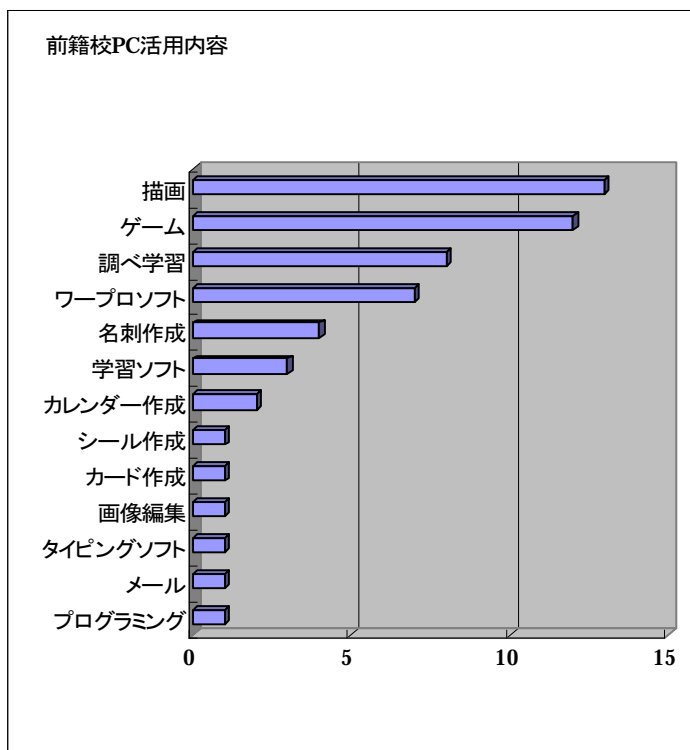
(3) 「パソコンでどんなことをしましたか？」の質問に対しては、「描画」「ゲーム」「調

べ学習」「ワープロソフト」の回答が多かった。

Table2-4-3
前籍校 PC 活用内容
(複数回答)

描画	1
	3
ゲーム	1
	2
調べ学習	8
ワープロソフト	7
名刺作成	4
学習ソフト	3
カレンダー作成	2
シール作成	1
カード作成	1
画像編集	1
タイピングソフト	1
メール	1
プログラミング	1

Fig2-4-3



5. 養護学校分教室におけるパソコンの活用の例

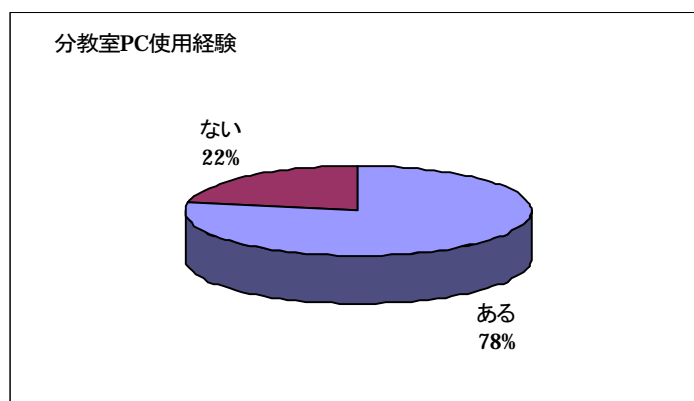
(1) 「そよ風分教室で、パソコンを使ったことがありますか？」の質問に対しては78%が「ある」と答えている。「ない」と答えた児童生徒は、転入間もなくのケースや入院と同時にベッド上安静となり、一度も分教室の教室に登校したことがないケースであった。ベッドサイド学習におけるノートパソコン使用に関しては、病院サイドが一部の例外を除いて、調査時点では「使用禁」としていたことも要因となっている。

Table2-5-1

分教室 PC 使用経験

ある	21
ない	6
合計	27

Fig2-5-1



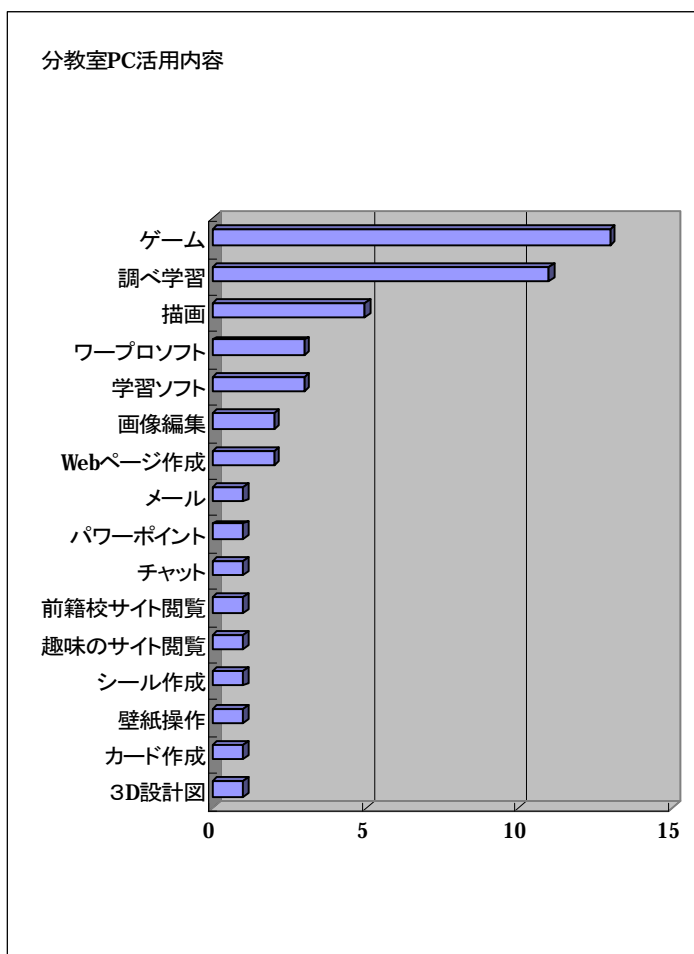
(2) 「パソコンでどんなことをしていますか？」の質問に対しては、「ゲーム」が多く、

次いで「調べ学習」「描画」と続いている。

Table2-5-2
分教室 PC 活用内容
(複数回答)

ゲーム	1	3
調べ学習	1	1
描画		5
ワープロソフト		3
学習ソフト		3
画像編集		2
Web ページ作成		2
メール		1
パワーポイント		1
チャット		1
前籍校サイト閲覧		1
趣味のサイト閲覧		1
シール作成		1
壁紙操作		1
カード作成		1
3D 設計図		1

Fig2-5-2



6. 入院中のメールや交信

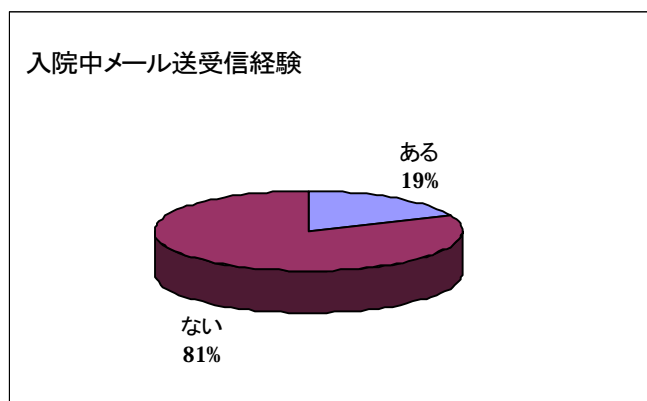
(1)「入院中パソコンでメールをもらったり、出したりしたことがありますか？」の質問に対しては「ある」と回答したのは5名、19%にとどまった。

Table2-6-1

入院中メール送受信経験
(人)

ある	5
ない	22
合計	27

Fig2-6-1



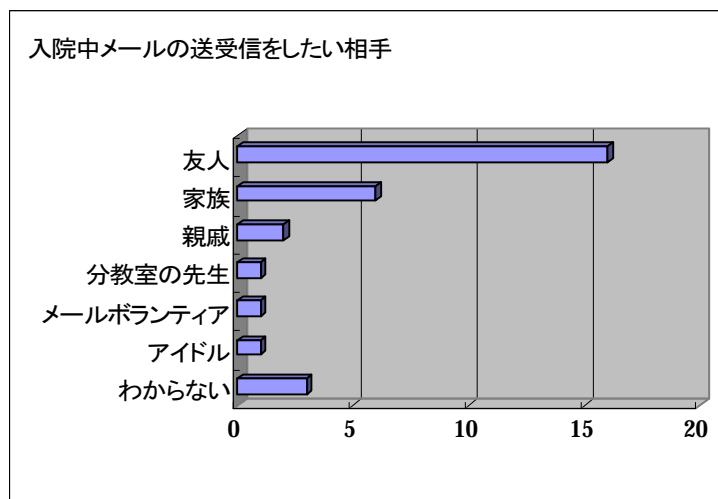
(2)「入院中誰とメールのやりとりをしたいですか？」の質問に対しては、「友人」が最も多く、次いで「家族」であった。

Table2-6-2

入院中メールの送受信を
したい相手(複数回答)

友人	16
家族	6
親戚	2
分教室の先生	1
メールボランティア	1
アイドル	1
わからない	3

Fig2-6-2



「友人」のうち、特に「病院で知り合った友人」をあげた児童生徒が3人であった。どうして、その相手にメールをしたいのか、理由を聞くと、以下のような回答があった。会えないから (5)

面会に来られない日があるから (2)

部屋が変わっても連絡できるから (1)

おもしろい人だから (1)

仲良くなったから (1)

- 友人だから (1)
- ファンだから (1) : アイドル
- 励ましてくれるから (1) : メールボランティア
- 手紙だとそんなに細かく書けないから (1)
- 相手が PC をもっているから (1)

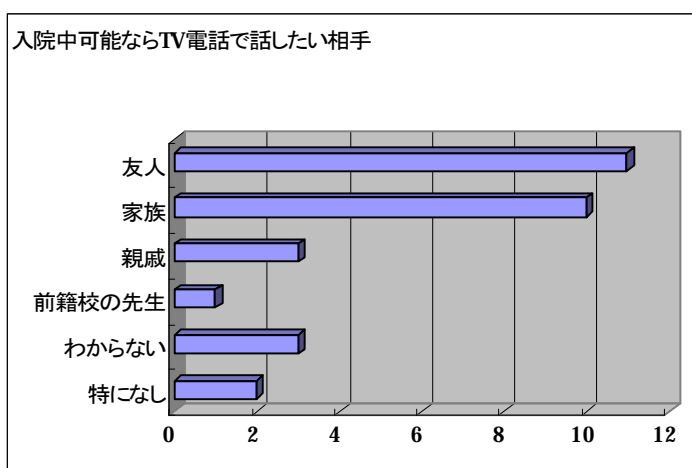
(3) 「入院中テレビ電話ができるとしたら誰と話したいですか？」という質問に対しては、「友人」という回答が最も多く、次いで「家族」であった。

Table2-6-3

入院中可能なら TV 電話で話したい相手 (複数回答)

友人	1
	1
家族	1
	0
親戚	3
前籍校の先生	1
わからない	3
特になし	2

Fig2-6-3



7. Webサイトでの情報発信

(1) 「自分の作品を学校やそよ風分教室のホームページ (Webサイト) に発表したことがありますか？」の質問に「ある」と答えたのは、5人だった。

作品の内容は、詩 (2) 折り紙 (の写真) (1) 作文 (1) 立体模型 (の写真) (1) であった。

(2) 「インターネット上に作品を発表していてどんな気持ちですか？」の質問に対しては、以下のような感想を得た。

- ・嬉しい。
- ・自分のページができて、「やった！」
- ・自分の作品が「あっ、のってる」ニコッという感じ。
- ・ちょっと恥ずかしい。
- ・特になし

8. インターネットの使用

(1)「入院中インターネットを使ってやってみたいことは何ですか？」の質問に対しては以下のような回答であった。

特になし (5)

興味のあることについて調べたい (5)

- ・キャンプファイヤーのやり方、カレー作りの仕方を調べたい
- ・民家や昔から伝わる言い伝えについて調べたい
- ・自動車のサイトを見たい

ゲーム (4)

わからない (4)

検索 (3)

- ・自分の小学校のホームページがあるかどうか探したい
- ・弟が喜びそうなサイトを探す
- ・アイドル名で検索

その他

- ・お話作り
- ・ホームページ作成
- ・いろいろな人の相性占いをやってみたい。
- ・いろいろなチャット
- ・友人とメール
- ・新しいソフト

「そよ風にいるうちにコンピュータやインターネットについてしっかりおぼえておきたい」と答えた児童もいた。

(2)「インターネットを使う上で、やってはいけないことはどんなことだと思いますか？」

の質問に対しては、「知らない・わからない」と答えた児童生徒が **10** 名と全体の **37%** もいた。それ以外の児童生徒の回答 (複数回答) は、以下のものであった。

<メールに関すること>

- ・いやがらせのメール
- ・チェーンメールなど変なメール

- ・ ウイルスメール

<Webサイトに関すること>

- ・ 名誉を傷つけるようなホームページ
- ・ 変なもの（気分が悪くなる内容）を載せない

- ・ 自分の個人情報をやたらに出さない。人の情報を勝手に載せない。
- ・ 人の電話番号を教えてしまうこと
- ・ 掲示板で言論の自由とは言え、人を侮辱したり見下したりしてはいけない

- ・ アンダーグラウンドのサイトにアクセスしない
- ・ 悪いサイトに入ってはいけない。
- ・ お金のかかるサイトに勝手に入らない
- ・ 勝手に有料のソフトをダウンロードしてはいけない
- ・ 有料のもの
- ・ 信用できないもの

- ・ ネットオークション
- ・ ものをやたらに高い値段で買わせること
- ・ ピッキングの道具や鉄砲の弾などを売ること

<コンピュータの取扱いや操作に関すること>

- ・ ファイルを勝手に開いたりしない。
- ・ ゴミ箱に勝手に捨てない
- ・ こわしちゃいけない
- ・ データを消さない
- ・ 画面を勝手にいじらない
- ・ いたづらをしてはいけない
- ・ 学校では授業中ゲームをやってはいけない
- ・ 電源 **ON** の時にコンセントを抜かない。終了の仕方に注意する。
- ・ 作業をちゃんと終わらせないで次の作業を続けてしまうこと。

<その他>

- ・ ウイルスや不正アクセスに注意する